

ゲームから学ぶ独禁法

公取委 愛大付属中で授業
市場経済の仕組み実感

ゲームを通じて独占禁止法や競争に基づく市場経済の仕組みを学ぶ出前授業が20日、松山市持田町1丁目の愛媛大付属中学校



寸劇で公取委による立ち入り検査を模擬体験する生徒

であり、3年生約160人が企業間の正しい競争の大切さを学んだ。

読もう!



授業は公正取引委員会(公取委)が全国の中学、高校などで実施。公取委事務総局

四国支所の職員2人が講師を務め、他店と一緒に値段を決めて販売する「カルテル」や、不当に安く売る行為など独禁法違反の禁止行為を紹介した。

携帯電話市場を舞台にしたゲームでは、販売店役の生徒がグループに分かれ、販売価格や「アイドルの握手会」など付加価値

「公取委は堅いイメージがあったが、自分も市場経済に関わっていることに気が付き、身近に感じるようになった。ただ値段が安ければ良いというのではな

く、消費者の意識も大切だと実感した」と話していた。

(杉本賢司)

※ 「ゲームから学ぶ独禁法」2014年1月21日付愛媛新聞(掲載許可番号:G20140201-01435)

※ 無断転載、複製及び頒布は禁止します。

(c) 愛媛新聞社